



サクリファイス ©1986 SVESKA FILMINSTITUTET

終わりになき タルコフスキー

忍澤勉 著
OSHIZAWA Tsutomu



アンドレイ・タルコフスキー ©Mary Evansamainimages

四六判並製 458頁 1月下旬刊 定価:本体2600円+税(税込2860円)
ISBN978-4-909281-40-1 C0074

「難解」と言われ、謎の場面に満ちた
タルコフスキーの映画が遂に解き明かされる!
「芸術」「映画」の棚に必備の〈決定版〉刊行!

ソ連の詩的映像作家アンドレイ・タルコフスキーが世を去って35年。しかし彼の作品への評価は高まることがあっても、古びることは決してない。映画館でも「タルコフスキー映画祭」が常開催され、新しいファンを獲得し続けている。

本書は、難解と言われるタルコフスキー映画全8作を詳細に解説すると共に全作品のフィルムグラフィックとタルコフスキー家の年譜も収録した〈タルコフスキー本の決定版〉です。

〈目次より〉

はじめに——永劫たる瞬間

第1章 物語の深淵——隠された意図

序 バステルナークの予言

- ・光と水の寓話——「ローラーとバイオリン」
- ・楽園への越境——「僕の村は戦場だった」
- ・無言の創造力——「アンドレイ・ルブリョフ」
- ・虚空の孤独——「惑星ソラリス」
- ・記憶の牢獄——「鏡」
- ・絶望の中の希望——「ストーリー」
- ・死に至る郷愁——「ノスタルジア」
- ・神なき者の祈り——「サクリファイス」

第2章 家族の投影——芸術的ポートレイトの深層

- ・追慕——「ローラーとバイオリン」
- ・憤怒——「僕の村は戦場だった」
- ・告白——「アンドレイ・ルブリョフ」
- ・帰順——「惑星ソラリス」
- ・解放——「鏡」
- ・離脱——「ストーリー」

- ・捕囚——「ノスタルジア」
- ・逃亡——「サクリファイス」

第3章 モチーフの躍動——物語を紡ぐ事物

- ・自然と動物
- ・身体と行為
- ・人工物・食物の属性
- ・超自然と信仰

第4章 核時代への視線——内包された予言

- ・この時代に携えるもの
- ・陸前高田の一本松とタルコフスキー
- ・初期の作品に描かれた「戦争」——第二次世界大戦下の核の風景
- ・「惑星ソラリス」——放射線の返礼
- ・「鏡」——汚染された煙と雨
- ・「ストーリー」——核イメージとしての放熱塔
- ・「ノスタルジア」——世界の終わりの風景
- ・「サクリファイス」——核戦争後の夜に
- ・黒澤明の「生きものの記録」との比較
- ・タルコフスキーの視線——私たちのパケツ

年譜

直木賞作家
佐々木譲氏
絶賛!
のオビ付き



佐々木譲氏絶賛

「初見から50年。
いまタルコフスキーの深さを知った」

定価:本体2600円+税

〔著者紹介〕

忍澤勉(おしざわ・つとむ) 1956年東京生まれ。編集プロダクション、広告制作会社、出版社勤務を経て、著述業。日本SF作家クラブ会員。「『惑星ソラリス』理解のために——『ソラリス』はどう伝わったのか?」で第7回日本SF評論賞の選考委員特別賞を受賞。「ものみな憩える」で第2回創元SF短編賞の堀見賞受賞。「原色の想像力2」(創元SF文庫)に収録。岡和田晃編『北の想像力』(寿郎社)では「佐々木譲論」を、「現代北海道文学論」(藤田エッセントックス)では「佐藤泰志論」を執筆。

* 本書は地方小扱いですので一部の書店を除き新刊配本はありません。必ず事前のご予約(ご注文)をお願いします。

ご注文は下記にご記入の上→寿郎社 FAX011-708-8566

注文票

<p>地小出版 流通センター 取扱品</p> <p>●書店名</p> <p>●御担当者名</p>	<p>●発行 寿郎社</p>	<p>●発注日 月 日</p>	<p>●備考</p>
	<p>●注文数</p> <p>冊</p>	<p>●著者名 忍澤勉</p> <p>●書名 終わりになきタルコフスキー</p> <p>●定価: 本体 2600 円 + 税</p>	<p>●ISBN 978-4-909281-40-1 C0074</p>